

平成29年度
事業計画及び収支予算書

公益財団法人兵庫丹波の森協会

目 次

活動方針	1
事業体系	3
事業計画書	7
事業の受託状況	17
収支予算書	19
収支予算内訳書	23
(参考) 収支予算書 (資金ベース)	27

平成29年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針

当協会は、丹波地域（篠山市・丹波市）の地域づくりの指針である「丹波の森構想」の推進母体として昭和63年に設立（平成2年に法人化、平成24年に公益財団法人へ移行）され、兵庫県、篠山市、丹波市や市民と連携しながら、丹波の森づくりの意識啓発や人材育成、ふるさと教育の推進、地域づくり活動の支援などに取り組んできたところであり、社会的に公益性の高い責任ある法人として、「人と自然と文化の調和した丹波の森づくり」を更に進めるための事業を展開していく。

平成29年度の主な取組として、丹波の森づくりの拠点施設である「県立丹波の森公苑」、「県立丹波年輪の里」、「県立ささやまの森公園」及び「県立丹波並木道中央公園」の4つの施設の連携を更に深め、また、「丹波の森研究所」の充実強化を図りながら、丹波の豊かな地域資源を活かした地域づくり、丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想推進プロジェクトなど恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり、地域情報の発信、環境学習の推進、木育の推進、芸術文化の振興、生活創造活動のコーディネートなど多彩な分野の学習、交流、地域づくり事業等を支援、推進する。

平成30年には、当協会設立及び「丹波の森構想」の策定から30周年の節目を迎える。これまでの成果と課題を踏まえ、「丹波の森構想」を検証し、「30年の歩み」として記念誌発行等の準備を行う。

具体的には、「人と自然と文化の調和した森(地域)づくり」を目指して、次の3つのテーマを公益目的事業として設定し、事業や取り組みを推進する。

1 森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するために

- (1)魅力ある地域づくりの推進
- (2)生物多様性保全に向けた豊かな里山づくり
- (3)生物多様性を育む里山とのふれあい事業の推進

2 生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

3 芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切に作る心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

【施設ごとの活動方針】

- ・「県立丹波の森公苑」では、「生活創造活動」と「参画と協働によるこころ豊かな美しい丹波づくり」の推進拠点として、引き続き丹波らしさを生かした地域づくりを推進する。
- ・「県立丹波年輪の里」では、開園30周年を迎える。地域の木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝えるとともに「暮らしの中に木を取り入れる」ことをねらいとして木の普及振興に努める。
- ・「県立ささやまの森公園」では、開園15周年を迎えることから、これを記念した取組みを行うとともに、自然との共生を体験する施設として、里山保全や多彩な自然体験プログラムを展開し、世代や地域を越えた交流を通じて、豊かな丹波の里山づくりを推進する。
- ・「県立丹波並木道中央公園」では、開園10周年を迎えることから、複数の記念イベントを実施するとともに、豊かな森づくりと都市との交流の場として地域づくりに貢献する丹波らしい公園づくり「森づくりから森づかい」を基本に、森の魅力を地域の人々が主体となる企画運営を重視した公園づくりを推進し、さらに公園の魅力を丹波地域内外に発信していく。
また4月には、園内に「篠山市立 太古の生きもの館」がオープンする。当公園は県及び篠山・丹波両市が推進する「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム」の拠点施設であることから、この地域資源を活かした関係各機関の取組みに連携・協力していく。
- ・「丹波の森研究所」では、地域に密着したシンクタンクとして調査研究や取組提案を行い、市民主体の活動を支援するとともに魅力ある丹波の森づくりを先導していく。

平成29年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業体系

人と自然と文化の調和した丹波の森づくりを推進するため、県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立ささやまの森公園及び県立丹波並木道中央公園において、次の事業を実施する。

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発（深化）のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざす。

(1) 魅力ある地域づくりの推進

- ア 丹波の森大学の開設及び専科生への研究支援事業
- イ ウィーンの森親善訪問事業
- ウ 美しい村づくり活動支援事業
- エ 人材活用推進事業（丹波の森市民研究員制度）
- オ 丹波の森研究所の充実
- カ 地域づくり支援事業
 - ・ 地域づくり支援事業
 - ・ たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業
 - ・ たんば交流実践リーダー育成モデル事業
 - ・ たんば多世代による地域運営モデル事業

キ 花づくり活動支援事業

ク 丹波の森フェスティバルの開催

ケ 丹波の森収穫祭（なみきみちまつり）の開催

コ 丹波年輪の里事業

【県立丹波年輪の里】

サ 丹波並木道中央公園事業

【県立丹波並木道中央公園】

(2) 生物多様性保全に向けた豊かな里山づくりの推進

ア 里山ボランティア（森づくりスタッフ）養成事業

イ 里山創造活動支援事業

ウ 森づくりアドバイザーの設置

エ 国蝶オオムラサキの舞う里山づくり

オ ささやまの森公園事業

【県立ささやまの森公園】

(3) 生物多様性を育む里山とのふれあい事業の推進

ア 丹波の森公苑環境学習推進事業

(4) 公1 共通経費

ア 施設運営・管理

【全施設】

公2 生活創造活動への支援

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動その他の活動であって、豊かな生活を創造するための県民の主体的な活動（以下「生活創造活動」という。）を支援し、生活創造活動に係る情報を提供することにより丹波の森構想の理念である「活力ある開かれた地域社会の実現」をめざす。

(1) 地域・団体活動の支援

ア 県民交流広場等ネットワーク化支援事業

イ スポーツ大会・文化教室の開催

【県立丹波年輪の里】

(2) 生涯学習の場の提供

ア 放送大学センター外視聴教室の運営

イ 兵庫県地域高齢者大学4年生大学講座（丹波OB大学）の開設

ウ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座（丹波OB大学大学院）の開設

エ 講座「丹波学」の開設

オ 学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催

(3) 暮らしの安全安心の推進

ア 生活創造活動支援事業（消費生活を含む）

(4) 明日を担う丹波っ子の育成

ア トライやる・ウィーク等受入

【全施設】

イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催

ウ 丹波の森公苑長杯ふれあい中学生ソフトテニス大会の開催

エ 丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし語りベクラブの活動支援

(5) 公2 共通経費

ア 施設運営・管理

公3 芸術文化の振興

県民に音楽、演劇等の優れた舞台芸術等に触れる機会と創作活動の発表の場を提供することにより、丹波の森構想の理念である「潤いと安らぎのある地域社会の実現」をめざす。

(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供

ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催

イ 丹波の森公苑ホール等自主事業

(2) 芸術文化活動の振興

ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催

【県立丹波年輪の里】

イ 丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ展）の開催

【県立丹波年輪の里】

ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催

エ 展示ギャラリーの開設

オ 伝統文化活性化支援事業

カ 座っ展 2017-丹波でうまれた木の椅子-

【県立丹波年輪の里】

(3) 公3 共通経費

ア 施設運営・管理

公共 丹波地域情報の発信等

(1) 丹波地域情報の発信等

ア 情報発信等

イ 運営委員会の開催

【全施設】

ウ 兵庫丹波の森協会30周年記念事業の開催

II 収益事業会計等

1 収益事業会計

(1) 施設利用者への利便提供等事業の実施

【県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立丹波並木道中央公園】

2 その他事業会計

(1) 芸術文化団体等活動支援事業

ア 芸術文化団体等への活動支援

III 法人会計

【全施設】

1 法人会計

(1) 協会維持運営

(注) 各事業の右に実施している施設名を記載している。記載がない場合は、県立丹波の森公苑で実施している。

平成 29 年度 事業計画書

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備 考	
(1) 魅力ある地域づくりの推進	ア 丹波の森大学の開設及び専科生への研究支援事業	「丹波の森構想」を実現するための学習の場として、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そしてそれを支える「もり（森・守・盛）びと」づくりなど、将来の丹波地域を創造するための講義と現地学習を交えた講座を開催する。	○第 27 期 テーマ 境界（ボーダー）を越える ・実施時期： 6月～12月 10回開催 ・定 員： 70人 ・受講料：10,000円 ○専科生への活動支援	【予算額】 1,437,000 【前年度予算額】 1,307,000	
	イ ウィーンの森親善訪問事業	自然保護や環境保全景観形成など、共通の取組を進めているウィーンの森等へ親善訪問団を派遣し、丹波の森構想のモデル地域の状況・生活を体験する。	・オオムラサキ飼育支援事業 ・交流花壇設置支援事業 ・ウィーンの森親善訪問の旅の実施 実施時期：7月4日（火）～11日（火）	【予算額】 1,405,000 【前年度予算額】 288,000	
	ウ 美しい村づくり活動支援事業	人と自然と文化・産業が調和した魅力ある地域づくり（丹波の森構想）を進めるために、住民・事業者・行政が一体となった丹波の美しさを守り活かす活動を支援する。	「丹波の森 花くらぶ」の主催する『たんばオープンガーデン』は、丹波の豊かな自然と花を楽しむ取り組みにより、花好き仲間との交流を進めている。今後、人と自然と文化・産業が調和した魅力ある地域づくり（丹波の森構想）を進めるため、より多様な展開について検討する。	【予算額】 410,000 【前年度予算額】 321,000	
	エ 人材活用推進事業（丹波の森市民研究員制度）	地域の現状を把握し、より地域の課題に対応した実践的な活動を支援するため、地域の優れた人材や実践組織を「市民研究員」として登録し、地域への派遣を通じてそれぞれの人材の有する知識や技術等の経験を地域に還元する。	・市民研究員の派遣 ・市民研究員制度のPR	【予算額】 40,000 【前年度予算額】 32,000	
	オ 丹波の森研究所の充実	「丹波の森構想」（人・自然・文化・産業の調和した地域づくり）を推進するために、研究員の確保と資質の向上、地域づくり等に関する調査研究・提言・支援などの能力の向上、研究所の方向検討、時代に対応した研究テーマの発掘などを進める。	・研究交流会を通じた情報交換、方向検討、テーマ発掘など ・恐竜化石等を活かしたまちづくりの支援 ・研究所活動の広報・PR ・丹波県民局との連携まちづくり研究会（地域再生プロジェクトチーム会議）	【予算額】 9,392,000 【前年度予算額】 10,937,000	
	カ 地域づくり支援事業				
	・ 地域づくり支援事業	活力と魅力ある丹波の森（地域）づくり推進に向けて、地域・行政・大学・NPO等と連携協働しながら、地域づくりのための調査研究、重点地区の支援（アドバイザー派遣）、地域の取り組みや活動へのコーディネート業務などを行う。	・アドバイザー派遣等重点地区（篠山市、丹波市の5地区）の支援 ・丹波地域のまちづくりについて調査研究 ・丹波の森構想に対する河合雅雄氏の提言の具現化に向けての調査研究 ・人材育成：リーダー研修会等での講演など ・まちづくりに関する四者（県民局・篠山市・丹波市及び森協会）連絡調整会議開催 ・柏原のひなまつり事業のコーディネート業務	【予算額】 2,482,000 【前年度予算額】 2,236,000	
	・ たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業	篠山層群で発見されて世界的にも稀少な恐竜・哺乳類化石等をテーマとして市民主導による持続的な地域づくりを推進するため、観光資源、特産品等の開発、人材育成などを進める。	○丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想推進プロデューサー業務 ・丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想の推進に関わる事業に関する戦略立案や事業担当者へのアドバイス ・恐竜化石関連機関との調整	【予算額】 2,000,000 【前年度予算額】 0 (たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会受託)	
		川代溪谷ラインパーク・ワークショップの開催	【予算額】 0 平成 28 年度で事業終了	【前年度予算額】 2,102,000 (丹波県民局受託事業)	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
			○丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムの展開 フィールドミュージアム構想が目指す地域の方で資源を活かしていく仕組みづくりをさらに進め、丹波の魅力を発信し、地域の活性化を図る。 ・シンボルマークを活用したフィールドミュージアムの浸透強化 ①シンボルマークを活用検討委員会の設置 ②野外展示物を解説するコンテンツ作成(QRコード) ・次代を担う協働者と進める地域資源発掘とコンテンツ化 ①大学生と進めるフィールドミュージアム名所百景の選定 ②高校生と進める暮らし聞き書き調査の実施 ③高校生化石調査隊による化石調査 ④大地と暮らしの博覧会実施計画の策定	【予算額】 5,000,000 【前年度予算額】 300,000 (丹波県民局受託事業)
	・たんば交流実践リーダー育成モデル事業	丹波地域の少子高齢化、急速な人口減少に移住促進と相まって対応するため、県民交流広場実施団体の構成員の人材育成を行い、各地区の都市との交流等の取り組みの新展開を図る。	丹波地域の住民本位の主体的・計画的・継続的な「都市との交流」等を展開できるよう、地区等において住民の育成・指導を行うリーダーを育成するための事業を実施	【予算額】 1,000,000 【前年度予算額】 969,000 (丹波県民局受託事業)
	・たんば多世代による地域運営モデル事業	高齢化、人口減少に対応するため、都市部に近く豊かな自然の中で暮らせる丹波地域の特長を活かし、多世代での地域づくりに総合的に取り組み、丹波地域の地域力の向上を図る。	地域課題の共有及びふるさと意識の醸成に資するため、高校生、親世代等で継続実施する地域運営プランを構築するモデル事業を実施する。 ・ワークショップの開催 ・地域運営プランの試行	【予算額】 990,000 【前年度予算額】 0 (丹波県民局受託事業)
	・丹波氷上回廊ホームページの運営	丹波地域の気候風土や歴史文化に大きな影響を与えた「氷上回廊」を広く紹介するとともに、生物多様性保全や地球温暖化防止などの環境意識の啓発を目的として、ホームページ「氷上回廊」のコンテンツの充実を図る。	平成28年度で事業終了	【予算額】 0 【前年度予算額】 182,000 (丹波市受託事業)
	・「地域ラボ」整備可能性調査検討業務	篠山市の地域資源の活用や地域課題の解決につながるソーシャルビジネスを実践できる仕組みを作り、併せて、若者のしごと創出と移住定住を促進するための枠組みである「地域ラボ」を設立し運営を開始するにあたり、起業家の受け入れ体制づくりや、関係する地域団体との調整及び実施方法について調査・検討を行う。	平成28年度で事業終了	【予算額】 0 【前年度予算額】 1,438,000 (篠山市受託事業)
キ	花づくり活動支援事業	花と緑あふれる美しい丹波づくりを推進するため、地域の花づくり愛好家などを対象に、園芸や緑化活動に関する学習機会を提供する。	〈花と緑の教室〉 内 容：草花等の育成に関する知識修得、寄せ植えを中心とした実習 講 師：県立フラワーセンター職員 日 程：5月～3月 (年10回：1月を除く毎月1回開催) 募集定員：70人(午前・午後の部とも各35人) 受講料：12,000円(前期)、13,000円(後期) 〈園芸教室〉 内 容：コンテスト出展を目指し、鉢と草花の選び方から園芸に関する基本を学ぶ。 講 師：但馬高原植物園植栽主任 田丸和美 日 程：5・6・7・10・12・3月(年6回) 募集定員：36人 受講料：6,000円	【予算額】 1,829,000 【前年度予算額】 1,573,000

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	ク 丹波の森フェスティバルの開催	地域住民をはじめ、各種団体や企業、篠山市・丹波市など丹波地域の各階各層が取り組む様々な活動成果の発表や交流の機会を提供するため、丹波の森フェスティバルを開催する。	内容に工夫を凝らし、丹波地域の特色や魅力をアピールする企画とする。 開催日：未定(10月15日(日)又は29日(日))	【予算額】 650,000 【前年度予算額】 650,000
	ケ 丹波の森収穫祭(なみきみちまつり)の開催	丹波地域の数多い特産物の収穫を祝うとともに、大人も子どもも楽しめるプログラムを実施することによって都市部からの来場を図り、地域住民と都市住民との交流を深める場とする。 また併せて、丹波地域において取り組まれている「フィールドミュージアム構想の推進」や「森づくり活動」「里山再生」などの活動状況を広くPRし、参画と協働を呼びかける。	「収穫祭」は、地域との連携が何より重要であるため、準備から実行までを地域住民を中心とする実行委員会を立ち上げ、兵庫丹波の森協会と共催にて実施する。 また、農業、観光及び恐竜化石など地域資源の創造と保全を担う各団体や県民局、篠山・丹波両市にも実行委員会の構成団体として参加いただく。 具体的な催し内容としては、「食・森・楽・音」を基調としたさまざまな企画を実行するが、当公園は10月に開園10周年を迎えることから、それにふさわしいセレモニーやプログラムを組み込んでいく。	【予算額】 1,600,000 【前年度予算額】 1,607,000
	コ 丹波年輪の里事業	木とのふれあいの中で、木工クラフトを中心に、スポーツ、レクリエーションの活動を促進するため、各種の事業を実施する。	今年で開園30周年を迎える。地域の木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝えるとともに、「暮らしの中に木を取り入れる」ことをねらいとして木の普及振興に努める。 ○工作室における木工クラフトの指導(通年) ○ゴールドンウィークフェスタの開催(4月、5月) ○アトリエ作品展(4月、5月) ○芝生広場を活用するグランドゴルフ事業(週3回、通年) ○木に関する情報を提供する事業 ・木材に関する情報収集・提供 ・研修会の開催 ・木の普及振興事業 ・木育キャラバン事業	【予算額】 2,586,000 【前年度予算額】 2,232,000
	サ 丹波並木道中央公園事業	兵庫県園芸・公園協会とのJVによる指定管理の代表者として、次の目的を達成するため、公園運営を行う。 ① 利用者が快適かつ安全に利用できる公園管理 ② 多彩な企画プログラムやイベントの実施 ③ 当公園の特性を考慮した質の高い園地や植物の管理 ④ 利用者の声を反映した平等かつ公正な運営 ⑤ 公園立地地域及び住民との広範な連携と協働 ⑥ 公園立地の自然環境に配慮した管理運営 ⑦ 当協会及び兵庫県園芸・公園協会が運営する公園施設との連携 ⑧ 公園運営の住民参画の推進 ⑨ 丹波県民局、篠山市及び丹波市との連携	○利用促進事業(自主事業・参加型プログラム)の企画・運営(環境学習事業、都市・農村の交流事業、地域づくり支援、企業参加の植樹・森林整備、赤米・黒豆の栽培、木工教室、恐竜の発掘体験など) ○効果的な広報・PRの実施 ・「PARK LIFE」の発行(年4回) ・ホームページの充実 ○丹波地域の他施設及び兵庫県園芸・公園協会運営他施設との連携 ○公園の立地する地域団体等との協働事業 ○丹波県民局、篠山市及び丹波市が実施する地域活性化のための諸施策への協力 ・「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム」の拠点施設として、この地域資源を活かした関係各機関の取組みや、4月に園内にオープンする「篠山市立太古の生きもの館」との連携・協力 ○開園10周年記念事業の実施 ・記念グッズ製作、記念植樹 ・公園パンフレット改訂版発行 ・来園者100万人突破セレモニー ・記念音楽会開催 ・クイズラリー更新	【予算額】 2,128,000 【前年度予算額】 1,783,000

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(2) 生物多様性保全に向けた豊かな里山づくりの推進	ア 里山ボランティア(森づくりスタッフ)養成事業	丹波の森公苑の里山を活動の場とし、里山の自然や生き物とのふれあいを通じて、森づくりに参画する人材の育成を図る。	〔森づくり講座の開設〕 里山の保全・管理活動に興味を持っている人や技術修得をめざす人を対象に、丹波の森公苑里山を拠点とした研修の実施。 日 程：6月～12月、4講座、計9回開催 募集定員：各回5人 〔環境学習体験フィールドの整備〕 里山に親しむ環境づくりに向けて、里山倶楽部の協力を得ながら里山林などを整備。	【予算額】 280,000 【前年度予算額】 292,000
	イ 里山創造活動支援事業	自主活動クラブである里山倶楽部の主体的な活動の場を提供することにより、県民の里山とのふれあいの場の整備を推進する。	森づくりスタッフOBによる自主活動グループである里山倶楽部の活動を支援。 会員数：21人	【予算額】 25,000 【前年度予算額】 50,000
	ウ 森づくり活動アドバイザーの設置	緑豊かな丹波の森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するため、森づくり活動アドバイザー(2人)を配置する。	〔森づくり出前講座〕 自治会、施設等からの要請により、森づくりアドバイザーを派遣し、森づくりや環境学習の相談・指導・支援。 【(3) ア 丹波の森公苑環境学習推進事業と並行して実施】	【予算額】 0 【前年度予算額】 0
	エ 国蝶オオムラサキの舞う里山づくり	丹波の里山に国蝶オオムラサキが舞う姿を取り戻し、良好な里山環境を次世代に繋げていくためオオムラサキの飼育展示を行う。また、兵庫丹波オオムラサキの会と連携し、地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。	生物多様性保全に向けた豊かな里山づくりを進めるため、里山のシンボルである国蝶オオムラサキを継続して飼育展示。 また、小学校区を中心とした地域での飼育を推進するため、関係機関等との連携強化。 ・体験飼育展示 ・小学校等への飼育指導(20小学校、1高校、10事業所) ・放蝶会：7月1日(土) ・国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテストの実施 ・兵庫丹波オオムラサキの会との連携	【予算額】 211,000 【前年度予算額】 222,000
オ ささやまの森公園事業	人と自然が共生する豊かな里山づくりを推進するため、ボランティア活動スタッフ等の参画と協働により、(ア)基本プログラム(里山体験・自然学習・レクリエーション・里山復元)の実施を柱に、(イ)特別プログラム(里山まつり・特別企画等)や、(ウ)団体プログラム(園内散策・木工クラフト等)などを実施することにより、里山の保全と創造を進め、交流の場、ふれあいの場を提供する。	○開園15周年記念 ・記念植樹、中長期計画の策定、動物オブジェの製作等 ○基本プログラム ・里山体験班：草木染め、黒豆栽培、しめ縄作り等 ・レクリエーション班：深山登山、源流体験、とんど等 ・自然学習班：バードウォッチング、植物観察、ヒメボタルの観察等 ・里山復元班：炭焼き体験、シイタケ作り等 ○特別プログラム ・里山まつり、里山の日特別企画、里山コンサート等 ○森の学校(第10期生) ○団体プログラム ・団体利用：葉脈しおり作り、木工クラフト等 ・篠山東雲高校「里山文化」授業の支援	【予算額】 8,440,000 【前年度予算額】 6,354,800	
(3) 生物多様性を育む里山とのふれあい事業の推進	ア 丹波の森公苑環境学習推進事業	里山の自然や生き物について体験的に学ばせるため、自らが日々の暮らしや生活行動を見直す機会をつくる環境学習を行う。	〔子ども対象プログラム〕 ・丹波縄文の森塾の開催 内 容：里山探索、生きもの観察、縄文キャンプ(2泊3日)、土器焼き、ツリーイング、草木染め、夜間昆虫観察等 期 間：5月～3月(毎月1回) 募集定員：小学4年～6年生 30人 参加費：6,500円、キャンプ6,500円(別途) 〔親子・家族対象プログラム〕 四季を通じて実施することにより、丹波(森公苑)のファンを増やす。 ・里山ふれあいハイキング 日 程：4月29日(土) 募集定員：30人	【予算額】 933,000 【前年度予算額】 1,041,000

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
			<p>参加費：300円（小学生以上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国蝶オオムラサキの越冬幼虫探し <p>日程：2月 募集定員：30人</p> <p>[リーダー養成プログラム] 縄文の森塾の運営に携わる「自然体験活動サポーター」を設置。高校・大学生、社会人が毎月の塾活動を支援しながら、自然体験活動のノウハウを培う。</p> <p>[環境学習支援プログラム] ・里山の秋の実り体験 期間：9月～10月 参加者：篠山市及び丹波市内の保育園児、幼稚園児・小学生及び引率者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施 ・公苑における学習支援 	
(4) 公1 共通経費	ア 施設運営・管理	公1 森林文化（地域づくり）の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公1 森林文化（地域づくり）の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	<p>【予算額】</p> <p>145,926,000 (苑) 13,518,000 (輪) 72,474,000 (さ) 19,877,000 (並) 40,057,000</p> <p>【前年度予算額】</p> <p>163,154,532</p>

公2 生活創造活動への支援

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考	
(1) 地域・団体活動の支援	ア 県民交流広場ネットワーク化支援事業	丹波地域における県民交流広場事業の取り組みやその成果を、広く住民に紹介することにより、コミュニティ再生の気運づくりと各広場間の交流や連携の促進を図る。	・管内の県民交流広場の活動等を冊子(イベント情報)にまとめ、関係機関・団体等に配布するとともにホームページで発信 年4回	【予算額】 27,000 【前年度予算額】 30,000	
	イ スポーツ大会・文化教室の開催	地域のスポーツ・文化活動を促進するため、イベント広場などを利用する少年サッカー大会、グラウンドゴルフ大会を開催する。また、工作室を利用する木工特別教室、こどもの読書を促す絵本の読み聞かせ、アトリエを利用するサークル教室などを開催する。	○特別工作教室 ○コバ柏原少年サッカー大会の開催 ○グラウンドゴルフ大会(年4回予定) ○親子で音楽や絵本などを楽しむ会(年2回予定) ○アトリエサークル教室の開催	【予算額】 2,364,000 【前年度予算額】 2,412,000	
(2) 生涯学習の場の提供	ア 放送大学センター外視聴教室の運営	放送大学の学生への学習支援のため、ビデオ・テープ等の学習教材視聴の場として丹波教室を開設運営する。併せて、一般県民への学習教材の視聴提供も行う。	放送大学生への学習支援として、教材並びに視聴覚機器を提供。 【(3)ア 生活創造活動支援事業と並行して実施】	【予算額】 0 【前年度予算額】 0	
	イ 兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座(丹波OB大学)の開設	生涯学習の一環として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、社会の担い手として永年培ってきた知識や経験をより磨き、魅力ある地域社会を創り出す実践者を養成する。	【丹波OB大学】 ・学習年限:4年 ・募集定員:各学年60人 ・講座内容:教養講座、専門講座(健康福祉、地域文化、生活創造)、特別講座 ・開催時期:4月～3月までの18回 ・受講料:12,500円 【丹波OB大学大学院】 ・学習年限:2年 ・募集定員:各学年30人 ・講座内容:基礎・応用講座、課題・実践演習、事例研究、実践活動 ・開催時期:4月～3月までの18回 ・受講料:12,500円	【予算額】 2,358,000 【前年度予算額】 2,144,000	
	ウ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座(丹波OB大学大学院)の開設				
	エ 講座「丹波学」の開設	「丹波の森構想」に対する理解を深めるとともに、丹波地域の多彩な資源や魅力を再発見し、主体的に地域づくりに参画しようとする意欲の高揚に結びつけるため、学習の機会を提供する。	・テーマ:「権力者が認めた丹波の森～歴史から丹波の魅力を探る～」 ・日程:8月～12月の間、全5回 ・場所:丹波の森公苑多目的ルーム ・募集定員:150人 ・受講料:5,000円	【予算額】 830,000 【前年度予算額】 800,000	
	オ 学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、高齢者の主張・芸能発表や、創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表し、互いに学びあい交流を深め生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	・日程:9月29日(金) ・場所:丹波の森公苑ホール、多目的ルーム等 ・内容:記念講演、高齢者の主張、芸能発表、作品展 ・参加者数:600人(丹波地域内の高齢者大学受講生など)	【予算額】 300,000 【前年度予算額】 340,000	
		森のコミュニティ応援隊派遣事業	生活の創造や豊かな地域社会づくりを実現するため、県民が身近な地域を学びの場と位置づけ、地域コミュニティの再生をめざして自主的に行う学習会・ワークショップ等の講師謝金を助成する。	平成28年度で事業終了	【予算額】 0 【前年度予算額】 90,000
(3) 暮らしの安全安心の推進	ア 生活創造活動支援事業(消費生活を含む。)	生活創造活動や消費生活に関する相談窓口を開設するとともに、消費者被害防止のための普及啓発を実施する。	・消費生活相談窓口の開設(日・祝日・休苑日を除く、土は事前予約制) ・消費生活出前講座の実施(年20回程度) ・消費生活にゅーすの発行(年4回)	【予算額】 180,000 【前年度予算額】 210,000	
		生活創造活動グループサポート事業 丹波地域の団体・グループ等の生活創造活動の情報を収集・発信し、団体・グループ活動を支援する。	・グループ活動コーナーの提供 ・情報発信のための印刷機械や情報ボックスの提供		

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(4) 明日を担う丹波っ子の育成	ア トライやる・ウイーク等受入	中・高生が働くことの大切さや厳しさを学ぶため、職場体験の場を提供する。	中・高校生にとって、ふさわしい体験プログラムの実施。 ・トライやる・ウイーク (中学生) 6月7日(水)～10日(土) ・インターンシップ (高校生) 11月	【予算額】 10,000 【前年度予算額】 10,000
	イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催	豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、子どもたちが創造する楽しさを体験し舞台芸術に親しむことを通して、舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図り、青少年健全育成に資するため、将来の芸術文化を担う子どもたちにミュージカル体験機会を提供する。	【レッスン】 ・日程：7月～10月 15回 ・対象者：小・中・高校生 ・募集定員：40人 ・指導：劇団ウエスト ・受講料：6,000円 【発表公演（「劇団ウエスト」の俳優との共演）】 ・日時：10月29日(日)、2回公演 ・場所：丹波の森公苑ホール ・演目：「スモーキーバレエ」 ・入場料：大人700円、高校生以下無料(検討中)	【予算額】 1,520,000 【前年度予算額】 1,516,600
	ウ 丹波の森公苑長杯ふれあい中学生ソフトテニス大会の開催	篠山市・丹波市の将来を担う青少年の健全育成を図るため、ソフトテニスを通じた中学生の交流の場を提供する。	・日程：4月29日(土・祝日) ・場所：丹波の森公苑テニスコート ・参加者：中学生 200人 (男子50ペア・女子50ペア) ・参加料：1ペア500円	【予算額】 68,000 【前年度予算額】 68,000
	エ 丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし語りべクラブの活動支援	子どもの健やかな成長とこころ豊かな地域づくりを願い、兵庫丹波の森協会が発行している「丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし」(全10集)を活用し、家庭や地域に広める活動を推進するため、大型紙芝居等の作成・修復に対する助成や研修会を開催する。	・丹波のむかしばなしを活用した交流会、研修会、講座の実施 ・紙芝居等の作成費及び修復助成	【予算額】 125,000 【前年度予算額】 1,315,000
(5) 公2共通経費	ア 施設運営・管理	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	【予算額】 154,278,000 【前年度予算額】 70,706,000

公3 芸術文化の振興

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供	ア 丹波の森国際音楽祭シューベルト・イーデーたんばの開催	国内外からアーティストを招聴し、地域交流・国際交流の輪を広げるコンサートを開催する。 ・ オリジナル企画でシューベルトの音楽を楽しむ交流を深めるコンサートを開催 オープニング・サロンコンサート(2公演) ファイナルコンサート(1公演) ・ 丹波地域の住民等が企画・運営する街角コンサートの実施(10地区・10回) ・ 丹波地域の幼・小・中・高・特別支援学校園へ出向いて行う「ふるさと音楽広場」(10校)、「キン・コン・カン・コンサート」(4校)の実施等	テーマ 「森に広がる源流の響き」 ・ 開催期間 9月9日(土)～11月11日(土) ○ホールコンサート ●オープニング・サロンコンサート ・ 日 程：9月9日(土) ・ 場 所：お菓子の里丹波(篠山市) ・ 入場料：3,000円(当日3,500円) ※ケキ、お茶付き ●ガラ・コンサート ・ 日 程：11月11日(土) ・ 場 所：丹波の森公苑ホール ・ 入場料：大人2,500円(当日3,000円) 中高生1,000円(当日1,500円) ○街角コンサート(丹波地域2市10会場) ○キン・コン・カン・コンサート (中・高校4校程度) ○ふるさと音楽ひろば(小学校10校程度) ○協賛コンサート	【予算額】 1,500,000 (局) 500,000 (苑) 1,000,000 【前年度予算額】 1,500,000
	イ 丹波の森公苑ホール等自主事業	地域文化の高揚と芸術の香り高い暮らしを創造するため、演劇や音楽など質の高い公演を定期的に企画・開催し、県民に優れた生の舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。	・ 日 程：8月19日(土) 2回公演 ・ 場 所：丹波の森公苑多目的ルーム ・ 内 容：劇団かかし座による影絵「魔法つかいのおとぎばなし」の公演 ・ 入場料：大人600円、小人(小学生以下)400円(検討中)	【予算額】 498,000 【前年度予算額】 498,000
(2) 芸術文化活動の振興	ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催	丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動を普及させるため、全国各地で活動するクラフトマンが一堂に集い、芝生広場など苑内での自由な作品展示、来園者との交流を行う。	○第26回アートクラフトフェスティバル in たんば2017 ・ 日 程：9月30日(土)～10月1日(日) ・ 出展予定者：180名	【予算額】 400,000 【前年度予算額】 400,000
	イ 丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ展)の開催	丹波のイメージアップと木エクラフトを普及させる全国公募展を開催する。	○第30回丹波の森ウッドクラフト展 ・ 全国公募 一般の部、ジュニアの部 ・ 作品展示 一般の部：9月～10月 ジュニアの部：10月～11月 ・ 場 所 年輪の里木の館ホール ・ 表彰式 11月	【予算額】 900,000 【前年度予算額】 900,000
	ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催	広く美術家、美術愛好家に創作活動の発表の場を提供するとともに、県民や県内芸術家との交流を図る。	○新春書き初め展 ・ 日 程：①1月24日(水)～28日(日) ②2月1日(木)～5日(月) ・ 場 所：①丹波の森公苑多目的ルームほか ②篠山市立四季の森生涯学習センター(予定) ○文化賞受賞者小品展 ・ 日 程：9月22日(金)～26日(火) ・ 場 所：丹波の森公苑多目的ルーム	【予算額】 120,000 【前年度予算額】 120,000
	エ 展示ギャラリーの開設	創作あるいは地域づくり活動に励む人々に展示や発表機会を設け、世代や分野を超えた交流を深めるとともに、創作活動のサポートを行う。	年間30回程度を目途に作品展示を実施	【予算額】 10,000 【前年度予算額】 10,000
	オ 伝統文化活性化支援事業	地域の伝統文化を保存・継承するため、青少年が伝統文化に親しみ理解を深めることができるようにするため、学校等において伝統文化を学習・体験する場づくりを支援する。	○民俗芸能発表・鑑賞機会の提供 ・ 日 程：5月14日(日) ・ 場 所：丹波の森公苑ホール ・ 出 演：大新屋新法師踊り ○子どもたちのための和楽器観賞会(丹波文化団体協議会による出前授業) ・ 日 程：12月～1月の間 ・ 場 所：丹波管内の小学校10校	【予算額】 200,000 【前年度予算額】 200,000

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	カ 座っ展-丹波で座る木の椅子	木の椅子の安らぎや手づくり作品のすばらしさを感じていただき、丹波に木工クラフト文化の定着を図るため、丹波地域で創作活動をする木工家の木の椅子の展示会を開催する。	○開園 30 周年 「第 6 回座っ展-丹波で座る木の椅子-」 【作品展示】 期 間：4 月 29 日（土・祝）～5 月 7 日（日） 場 所：年輪の里木の館ホール 出展予定者：15 名、35 脚	【予算額】 130,000 【前年度予算額】 130,000
(3) 公 3 共通経費	ア 施設運営・管理	公 3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公 3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	【予算額】 27,734,000 【前年度予算額】 27,693,000

公共 丹波地域情報の発信等

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 丹波地域情報の発信等	ア 情報発信等	みんなで参画と協働の地域づくりを進めるため、丹波の森づくりをはじめ、地域の各種実践活動等の情報を全国に発信する。 また、ホームページを充実し、タイムリーな情報を提供する。	○年報（年 1 回発行） ・HP 等に掲示 ○協会ニュース 2017 12 月発行予定 関係団体に配布及び HP に掲示 ○ホームページによる情報発信 ・毎月（1 日、11 日、21 日）更新 ○フェイスブックによる情報発信	【予算額】 1,129,000 (局) 286,000 (苑) 843,000 【前年度予算額】 1,817,000
	イ 運営委員会の開催	地域の参画による事業運営を行うため、たんばの地域住民、行政関係者及び学識経験者で構成する運営委員会を設置する。	○丹波の森公苑運営委員会 ○丹波年輪の里運営協議会 ○ささやまの森公園運営協議会 ○丹波並木道中央公園 森の円卓会議	【予算額】 407,000 (苑) 200,000 (輪) 77,000 (さ) 70,000 (並) 60,000 【前年度予算額】 397,000
	ウ 兵庫丹波の森協会 30 周年記念事業の開催	丹波地域における地域づくりの指針である「丹波の森構想」を地域住民の総意で推進するための組織として「兵庫丹波の森協会」が発足してから、平成 30 年で 30 周年の節目を迎える。記念事業の実施に向けて、学識経験者等を構成員とする検討委員会により、地元活動グループの意見も聴きながら、これまでの成果と課題を踏まえ、将来に向けた地域づくりを展望する。また、当協会の「30 年の歩み」をまとめた記念誌発行に向けて取り組む。	○「協会設立 30 周年の歩み」記念誌発行準備作業 ○丹波の森構想への提言（新たな地域づくりのあり方） ○新たな地域づくりのあり方研究会の開催 ○丹波の森構想 30 周年シンポジウム準備検討委員会の開催	【予算額】 1,450,000 (うち 450,000 は丹波県民局受託) 【前年度予算額】 0
	丹波の森公苑開園 20 周年記念式典	開園 20 周年の節目にあたり、関係者への感謝の意を表すとともに、今後も多彩な学習、交流、地域づくりを推進し、事業や施設運営へのさらなる県民参画を促進するため、開園 20 周年記念式典を開催する。	平成 28 年度で事業終了	【予算額】 0 【前年度予算額】 1,055,000

II 収益事業会計等

収1 利用者への利便提供等事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 利用者への利便提供等事業	ア 利用者への利便提供等事業	1 公益目的以外の施設の貸与 県立丹波の森公苑及び県立丹波年輪の里において、公益目的以外の施設貸与を行う。 2 施設利用者への利便提供事業 (1) 管理運営施設における飲み物自動販売機の設置 (2) 管理運営施設における物品販売場所の提供 3 木の普及及び木工クラフト普及のための木工クラフトキット、加工木材等の販売	1 公益目的以外で施設を貸与している。 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 2 施設利用者への利便提供事業 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 ・丹波並木道中央公園 (1) 飲み物の自販機設置 (2) 物販販売場所の提供 ・丹波年輪の里 レストラン施設貸与 3 木工クラフトキット、加工木材等を販売	【予算額】 5,809,000 (苑) 1,489,000 (輪) 4,080,000 (並) 240,000 【前年度予算額】 6,371,000

他1 芸術文化団体等活動支援事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 芸術文化団体等活動支援	ア 芸術文化団体等への活動支援	丹波の森公苑を拠点として、芸術文化団体等が活発な活動を展開できるよう支援する。	○丹波文化団体協議会 ・構成団体数：32団体 ○日本の童謡・唱歌を広める会 ●第9回丹波の森童謡唱歌の祭典 ・日程：5月14日(日) ・場所：丹波の森公苑ホール ○丹波の森ふれあいステージ実行委員会 ●丹波の森ふれあいステージ ・日程：6月10日(土) ・場所：丹波の森公苑ホール	【予算額】 200,000 【前年度予算額】 200,000

III 法人会計

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 法人会計	ア 協会維持運営	・評議員会・理事会開催費 ・協会事務局管理部門の人件費及び維持運営費	○評議員会 ○理事会 ○監事監査 ○協会事務局管理部門の人件費及び維持管理費	【予算額】 11,941,000 (局) 11,630,000 (苑) 95,000 (輪) 66,000 (さ) 30,000 (並) 120,000 【前年度予算額】 12,651,000

平成29年度 補助金等事業一覧表

(単位:千円)

科目名	事業名	相手先	業務内容	契約金額	備考
県補助金等収入 県補助金収入	地域振興事業補助金	兵庫県	本格的な成熟社会を迎え、自立した人々が自然と共生し、生き生きと暮らし、ともに生きることを実感できる地域社会を築くべく、県民一人ひとりの参画と協働による自律的な実践活動をより幅広く支援する観点から、地域住民や民間団体が行う地域ビジョンの推進及び地域固有の課題解決に資する各種活動等に対して助成を行う。	6,400	事務局
	県民交流広場ネットワーク化支援事業	兵庫県	丹波地域における県民交流広場事業の取り組みやその成果を情報誌「丹波の森」で情報発信し、活動等を冊子にまとめ、関係機関等に配布するとともにホームページ等で紹介する。	27	森公苑
	丹波の森公苑事業運営費	兵庫県	県立丹波の森公苑の事業運営業務を行う。	3,683	森公苑
	丹波年輪の里業務運営費	兵庫県	県立丹波年輪の里の事業運営業務を行う。	2,645	年輪の里
	ささやまの森公園業務運営費	兵庫県	県立ささやまの森公園の事業運営業務を行う。	17,505	ささやまの森公園
県補助金等収入 県負担・分担金収入	経費分担金	丹波県民局	コピー機等共通経費分担金	600	森公苑
市補助金等収入 市負担・分担金収入	兵庫丹波の森協会負担金	篠山市 丹波市	兵庫丹波の森協会の管理運営業務を行う。	18,300	事務局
その他の補助金等収入 その他の負担・分担金収入	分担金	(公財)兵庫県 青少年本部等	コピー機等共通経費分担金	50	森公苑
	丹波の森アートフェスティバル	(公財)兵庫県 芸術文化協会	兵庫県芸術文化協会負担金	30	森公苑
その他補助金等収入 その他補助金収入	子どもゆめ基金助成金	独立行政法人 国立青少年教育振興機構	子どもの体験活動の推進に向けた様々な取り組みが求められている中、子どもゆめ基金は、未来を担う夢を持った子どもの健全育成を推進するため、地域の団体等が実施する様々な体験活動や取り組み、体験活動の振興を図る取り組みの視野を広げる様な活動を中心に支援を行う。今回、助成対象となったのは、丹波縄文の森塾の子どもの体験活動(キャンプや自然観察などの自然体験活動)である。	370	事務局
	木育キャラバン事業	兵庫県木材業 協同組合連合会	子育て世代を対象に県民の県産材利用への関心を高めるため、木の玩具・遊具にふれる体験を県下各地の幼稚園・保育園で開催する。	400	年輪の里
	学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催	(公財)兵庫県 生きがい創造協会	丹波地域出身高齢者が一堂に会し、高齢者の主張・芸能発表や、創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表し、お互いに学びあい交流を深め生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	150	森公苑
県受託収入 指定管理料収入	県立丹波の森公苑指定管理	兵庫県	県立丹波の森公苑の管理運営業務を行う。	181,814	森公苑
	県立丹波年輪の里指定管理	兵庫県	県立丹波年輪の里の管理運営業務を行う。	71,989	年輪の里
	県立ささやまの森公園指定管理	兵庫県	県立ささやまの森公園の管理運営業務を行う。	9,741	ささやまの森公園
	県立丹波並木道中央公園指定管理	兵庫県	県立丹波並木道中央公園の管理運営業務を行う。	38,930	並木道中央公園

(単位:千円)

科目名	事業名	相手先	業務内容	契約金額	備考
県受託収入 その他受託収入	丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムの展開	兵庫県	フィールドミュージアム構想が目指す地域ので資源を活かしていく仕組みづくりをさらに進め、丹波の魅力を発信し、地域の活性化を図る。	5,000	事務局
	丹波の森構想30周年記念事業	兵庫県	丹波における地域づくりの指針である「丹波の森構想」の策定から平成30年で30周年の節目を迎える。記念事業の実施に向けて、学識経験者等を構成員とする検討委員会により、地元活動グループの意見も聴きながら、これまでの成果と課題を踏まえ、将来に向けた地域づくりを展望する。	450	事務局
	たんば交流実践リーダー育成モデル事業	兵庫県	丹波地域の住民本位の主体的・計画的・継続的な「都市との交流」等を展開できるよう、地区等において住民の育成・指導を行うリーダーを育成するための事業を実施する。	1,000	事務局
	たんば多世代による地域運営モデル事業	兵庫県	地域課題の共有及びふるさと意識の醸成に資するため、高校生、親世代等で継続実施する地域運営プランを構築するモデル事業を実施する。	990	事務局
	都市公園整備費	兵庫県	丹波並木道中央公園の維持修繕業務を行う。	1,000	並木道中央公園
市受託収入 その他受託収入	太古の生きもの館の施設管理	篠山市	篠山市立太古の生きもの館の施設管理業務を行う。	120	並木道中央公園
その他受託収入	丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想推進プロデューサー業務	たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会	丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想の推進に関わる事業に関する戦略立案や事業担当者へのアドバイス、また恐竜化石関連施設との調整を行う。	2,000	事務局
	学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催	(公財)兵庫県生きがい創造協会	丹波地域学ぶ高齢者が一堂に会し、高齢者の主張・芸能発表や、創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表し、お互いに学びあい交流を深め生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	150	森公苑

363,344

収支予算書 (損益ベース)

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

平成29年04月01日 から 平成30年03月31日 まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,020,000	2,020,000	0
基本財産受取利息	2,020,000	2,020,000	0
特定資産運用益	2,000	2,000	0
森づくり基金受取利息	2,000	1,000	1,000
減価償却引当資産受取利息	0	1,000	△1,000
受取会費	170,000	170,000	0
賛助会員受取会費	170,000	170,000	0
事業収益	30,931,000	30,608,000	323,000
指定事業収益	21,069,000	21,234,000	△165,000
自主事業収益	8,859,000	8,474,000	385,000
補助事業活動収益	1,003,000	900,000	103,000
受取補助金等	363,344,000	303,771,000	59,573,000
受取県補助金等	30,860,000	30,974,000	△114,000
受取市補助金等	18,300,000	18,300,000	0
受取その他補助金等	1,000,000	280,000	720,000
県受託収益	310,914,000	253,867,000	57,047,000
市受託収益	120,000	200,000	△80,000
その他受託収益	2,150,000	150,000	2,000,000
受取寄附金	2,000	2,000	0
受取森づくり基金寄附金	2,000	2,000	0
雑収益	162,000	162,000	0
受取利息	1,000	1,000	0
雑収益	161,000	161,000	0
経常収益計	396,631,000	336,735,000	59,896,000
(2) 経常費用			
事業費	389,583,000	332,994,000	56,589,000
報酬	38,701,000	33,230,000	5,471,000
給料手当	82,914,000	105,352,000	△22,438,000
福利厚生費	26,971,000	26,670,000	301,000
賃金	7,483,000	7,583,000	△100,000
諸謝金	5,903,000	5,426,000	477,000
旅費交通費	7,676,000	6,156,000	1,520,000
消耗品費	12,547,000	12,720,000	△173,000
燃料費	2,356,000	2,271,000	85,000
会議費	311,000	439,000	△128,000
印刷製本費	2,971,000	3,699,000	△728,000

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
光熱水費	19,264,000	19,655,000	△391,000
修繕費	89,086,000	3,781,000	85,305,000
消耗什器備品費	101,000	0	101,000
商品仕入費	1,500,000	2,700,000	△1,200,000
通信運搬費	2,458,000	2,548,000	△90,000
広告料	1,765,000	1,580,000	185,000
手数料	2,145,000	1,945,000	200,000
保険料	1,778,000	1,785,000	△7,000
委託料	59,612,000	51,870,000	7,742,000
使用料及び賃借料	7,895,000	6,821,000	1,074,000
備品購入費	620,000	300,000	320,000
負担・分担金及び補助金	3,676,000	23,076,000	△19,400,000
租税公課費	11,845,000	13,121,000	△1,276,000
減価償却費	0	261,000	△261,000
雑費	5,000	5,000	0
管理費	11,941,000	12,575,000	△634,000
役員報酬	4,610,000	4,570,000	40,000
給料手当	4,460,000	5,031,000	△571,000
福利厚生費	1,590,000	1,570,000	20,000
諸謝金	0	10,000	△10,000
旅費交通費	72,000	72,000	0
消耗品費	171,000	100,000	71,000
会議費	5,000	10,000	△5,000
通信運搬費	18,000	18,000	0
手数料	23,000	23,000	0
委託料	288,000	288,000	0
使用料及び賃借料	338,000	502,000	△164,000
負担・分担金及び補助金	269,000	219,000	50,000
租税公課費	52,000	102,000	△50,000
支払利息	40,000	40,000	0
雑費	5,000	20,000	△15,000
経常費用計	401,524,000	345,569,000	55,955,000
当期経常増減額	△4,893,000	△8,834,000	3,941,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△4,893,000	△8,834,000	3,941,000
一般正味財産期首残高	△11,723,856	△2,889,856	△8,834,000
一般正味財産期末残高	△16,616,856	△11,723,856	△4,893,000
II 指定正味財産増減の部			

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	183,383,144	188,276,144	△4,893,000

収支予算書内訳表

会計区分 全体

事業区分
平成29年04月01日 から 平成30年03月31日 まで

科目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	森林文化(梅屋づくりの創造)	生活創造活動の支援	芸術文化の振興	(公益共済)	小計	収益事業	その他事業			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	2,020,000	0	0	0	2,020,000	0	0	0	0	2,020,000
基本財産受取利息	2,020,000	0	0	0	2,020,000	0	0	0	0	2,020,000
特定資産運用益	2,000	0	0	0	2,000	0	0	0	0	2,000
森づくり基金受取利息	2,000	0	0	0	2,000	0	0	0	0	2,000
受取会費	170,000	0	0	0	170,000	0	0	0	0	170,000
賛助会員受取会費	170,000	0	0	0	170,000	0	0	0	0	170,000
事業収益	9,321,000	15,181,000	599,000	200,000	25,301,000	5,430,000	200,000	5,630,000	0	30,931,000
指定事業収益	4,390,000	14,628,000	411,000	200,000	19,629,000	1,240,000	200,000	1,440,000	0	21,069,000
自主事業収益	4,464,000	125,000	80,000	0	4,669,000	4,190,000	0	4,190,000	0	8,859,000
補助事業活動収益	467,000	428,000	108,000	0	1,003,000	0	0	0	0	1,003,000
受取補助金等	175,475,000	142,898,000	30,893,000	2,786,000	352,052,000	349,000	0	349,000	0	353,441,000
受取県補助金等	24,628,000	3,258,000	1,929,000	1,015,000	30,830,000	0	0	0	0	30,860,000
受取市補助金等	7,000,000	0	250,000	418,000	7,668,000	0	0	0	0	7,668,000
受取その他補助金等	770,000	200,000	30,000	0	1,000,000	0	0	0	0	1,000,000
県受託収益	140,957,000	139,290,000	28,684,000	1,353,000	310,284,000	349,000	0	349,000	0	310,914,000
市受託収益	120,000	0	0	0	120,000	0	0	0	0	120,000
その他受託収益	2,000,000	150,000	0	0	2,150,000	0	0	0	0	2,150,000
受取者附金	2,000	0	0	0	2,000	0	0	0	0	2,000
受取森づくり基金者附金	2,000	0	0	0	2,000	0	0	0	0	2,000
雑収益	1,734,000	126,000	0	0	1,860,000	30,000	0	30,000	0	1,890,000
受取利息	0	1,000	0	0	1,000	0	0	0	0	1,000
雑収益	6,000	125,000	0	0	131,000	30,000	0	30,000	0	161,000
内部取引収益	1,728,000	0	0	0	1,728,000	0	0	0	0	1,728,000
経常収益計	188,724,000	158,205,000	31,492,000	2,986,000	381,407,000	5,809,000	200,000	6,009,000	0	396,631,000
(2) 経常費用										
事業費	188,764,000	162,060,000	31,492,000	2,986,000	385,302,000	5,809,000	200,000	6,009,000	0	389,583,000
報酬	23,113,000	11,714,000	3,634,000	0	38,461,000	240,000	0	240,000	0	38,701,000
給料手当	59,826,000	6,196,000	16,723,000	0	82,745,000	169,000	0	169,000	0	82,914,000
福利厚生費	14,253,000	5,318,000	7,286,000	0	26,857,000	114,000	0	114,000	0	26,971,000
賃金	7,481,000	0	0	0	7,481,000	2,000	0	2,000	0	7,483,000
諸謝金	3,836,000	1,552,000	170,000	345,000	5,903,000	0	0	0	0	5,903,000
旅費交通費	5,724,000	1,072,000	321,000	467,000	7,584,000	12,000	80,000	92,000	0	7,676,000

科 目	公益目的事業会計		取組事業等会計		法人会計	内部取引消去	合計			
	森林文化（地域づく り）の創造	生活創造活動の支援	芸術文化の振興	（公益共通）				小計	収益事業	その他事業
消耗品費	8,336,000	2,466,000	32,000	80,000	10,914,000	1,583,000	50,000	1,633,000	0	12,547,000
燃料費	1,515,000	823,000	0	0	2,338,000	18,000	0	18,000	0	2,356,000
会議費	242,000	50,000	4,000	15,000	311,000	0	0	0	0	311,000
印刷製本費	2,490,000	380,000	100,000	0	2,970,000	1,000	0	1,000	0	2,971,000
光熱水費	6,968,000	11,848,000	0	0	18,816,000	448,000	0	448,000	0	19,264,000
修繕費	2,062,000	86,311,000	0	0	88,373,000	713,000	0	713,000	0	89,086,000
消耗什器備品費	100,000	0	0	0	100,000	1,000	0	1,000	0	101,000
商品仕入費	0	0	0	0	0	1,500,000	0	1,500,000	0	1,500,000
通信運搬費	1,151,000	1,243,000	16,000	6,000	2,416,000	22,000	20,000	42,000	0	2,458,000
広告料	1,338,000	0	125,000	0	1,464,000	301,000	0	301,000	0	1,765,000
手数料	1,889,000	202,000	9,000	10,000	2,110,000	35,000	0	35,000	0	2,145,000
保険料	1,134,000	633,000	0	0	1,767,000	11,000	0	11,000	0	1,778,000
委託料	34,279,000	22,540,000	350,000	1,993,000	59,162,000	450,000	0	450,000	0	59,612,000
使用料及び賃借料	3,346,000	4,266,000	120,000	34,000	7,766,000	79,000	50,000	129,000	0	7,895,000
備品購入費	120,000	490,000	0	0	610,000	10,000	0	10,000	0	620,000
負担・分担金及び補助金	1,000,000	40,000	2,600,000	36,000	3,676,000	0	0	0	0	3,676,000
租税公課費	6,828,000	4,916,000	1,000	0	11,745,000	100,000	0	100,000	0	11,845,000
雑費	1,733,000	0	0	0	1,733,000	0	0	0	△1,728,000	5,000
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,941,000
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,610,000
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,460,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,590,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72,000
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	171,000
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,000
手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23,000
委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	288,000
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	338,000
負担・分担金及び補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	269,000
租税公課費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52,000
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40,000
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,000
経常費用計	188,764,000	162,060,000	31,492,000	2,986,000	385,302,000	5,809,000	200,000	6,009,000	11,941,000	401,524,000
当期経常増減額	△40,000	△3,855,000	0	0	△3,895,000	0	0	△998,000	0	△4,893,000
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

科 目	公益目的事業会計 森林文化(地域づく り)の創造				収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合計
	生活創造活動の支援	芸術文化の振興	(公益共通)	小計	収益事業	その他事業	小計				
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△40,000	△3,855,000	0	△3,895,000	0	0	0	△998,000	0	△4,893,000	
一般正味財産期首残高	-	-	-	△11,773,145	-	-	-	49,289	0	△11,723,856	
一般正味財産期末残高	-	-	-	△15,668,145	-	-	-	△948,711	0	△16,616,856	
II 指定正味財産増減の部											
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	-	-	-	200,000,000	-	-	-	-	0	200,000,000	
指定正味財産期末残高	-	-	-	200,000,000	-	-	-	-	0	200,000,000	
III 正味財産期末残高	-	-	-	184,331,855	-	-	-	△948,711	0	183,383,144	

収支予算書 (資金ベース)

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

平成29年04月01日 から 平成30年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
1 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	2,020,000	2,020,000	0	
2 特定資産運用収入				
森づくり基金利息収入	2,000	1,000	1,000	
減価償却引当資産利息収入	0	0	0	
3 会費収入				
賛助会員会費収入	170,000	170,000	0	
4 事業収入				
指定事業収入	21,069,000	20,878,600	190,400	
自主事業収入	8,859,000	8,407,000	452,000	
補助事業活動収入	1,003,000	1,200,000	△197,000	
5 補助金等収入				
県補助金等収入	30,860,000	30,974,000	△114,000	
市補助金等収入	18,300,000	18,300,000	0	
その他補助金等収入	1,000,000	1,095,000	△95,000	
県受託収入	310,914,000	239,208,532	71,705,468	
市受託収入	120,000	2,532,000	△2,412,000	
その他受託収入	2,150,000	150,000	2,000,000	
6 寄附金収入				
森づくり基金寄附金収入	2,000	12,000	△10,000	
7 雑収入				
利息収入	1,000	1,000	0	
雑収入	161,000	170,000	△9,000	
事業活動収入計	396,631,000	325,119,132	71,511,868	
2 事業活動支出				
1 事業費支出				
報酬支出	38,701,000	36,311,000	2,390,000	
給料手当支出	82,914,000	86,357,000	△3,443,000	
福利厚生費支出	26,971,000	26,875,000	96,000	
賃金支出	7,483,000	7,583,000	△100,000	
諸謝金支出	5,903,000	4,840,000	1,063,000	
旅費交通費支出	7,676,000	5,867,747	1,808,253	
消耗品費支出	12,547,000	13,327,200	△780,200	
燃料費支出	2,356,000	1,858,000	498,000	
会議費支出	311,000	231,600	79,400	
印刷製本費支出	2,971,000	3,427,980	△456,980	
光熱水費支出	19,264,000	16,247,000	3,017,000	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備考
修繕費支出	89,086,000	9,639,112	79,446,888	
消耗什器備品費支出	101,000	100,000	1,000	
商品仕入費支出	1,500,000	2,793,000	△1,293,000	
通信運搬費支出	2,458,000	2,591,458	△133,458	
広告料支出	1,765,000	993,000	772,000	
手数料支出	2,145,000	2,121,378	23,622	
保険料支出	1,778,000	1,815,330	△37,330	
委託料支出	59,612,000	54,748,800	4,863,200	
使用料及び賃借料支出	7,895,000	8,078,627	△183,627	
備品購入費支出	620,000	752,000	△132,000	
負担・分担金及び補助金支出	3,676,000	18,583,000	△14,907,000	
租税公課費支出	11,845,000	13,154,700	△1,309,700	
雑支出	5,000	5,000	0	
2 管理費支出				
報酬支出	4,610,000	4,570,000	40,000	
給料手当支出	4,460,000	4,901,000	△441,000	
福利厚生費支出	1,590,000	1,607,000	△17,000	
諸謝金支出	0	0	0	
旅費交通費支出	72,000	92,000	△20,000	
消耗品費支出	171,000	196,000	△25,000	
会議費支出	5,000	10,000	△5,000	
印刷製本費支出	0	10,000	△10,000	
通信運搬費支出	18,000	54,000	△36,000	
広告料支出	0	40,000	△40,000	
手数料支出	23,000	65,000	△42,000	
委託料支出	288,000	338,000	△50,000	
使用料及び賃借料支出	338,000	382,000	△44,000	
負担・分担金及び補助金支出	269,000	264,000	5,000	
租税公課費支出	52,000	110,000	△58,000	
支払利息支出	40,000	15,000	25,000	
雑支出	5,000	2,000	3,000	
事業活動支出計	401,524,000	330,956,932	70,567,068	
事業活動収支差額	△4,893,000	△5,837,800	944,800	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2 投資活動支出				
1 特定資産取得支出				
減価償却引当資産取得支出	0	261,000	△261,000	
2 基金取得支出				
一般募金積立金支出	4,000	4,000	0	
投資活動支出計	4,000	265,000	△261,000	
投資活動収支差額	△4,000	△265,000	261,000	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備考
Ⅲ 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	△4,897,000	△6,102,800	1,205,800	
前期繰越収支差額	3,197,337	9,300,137	△6,102,800	
次期繰越収支差額	△1,699,663	3,197,337	△4,897,000	